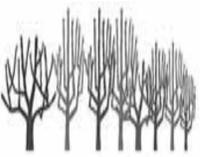


社会教育関係団体登録の申請 《12月10日▶27日 受け付け》

問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2091

下記の登録の要件に該当し、新規登録を希望する団体やグループは、申請手続きをしてください。登録承認の有効期間は、平成23年3月1日から平成24年8月31日までです。

- 【登録要件】
 - 社会教育法に基づく組織的な教育活動を自ら行い、その団体の学習活動・内容が明確であり、公の支配に属さない団体であること。
 - 団体運営については、団体に主体性があり、営利事業や政治・宗教活動を目的としない任意団体であること。特に芸能・趣味関係団体については、活動が流派の普及活動や指導者の営利を目的としたり、またはそれに類した行為を行わない団体であること。
 - 過去1年以上の実績があり、将来も継続して活動できる団体であること。
 - 規約があり、会計・会計監査等の制度が確立しており、団体の本拠としての事務所が芦屋市にあること。
 - 健全な自己財源を持ち、会員の会費等の負担額が一般的に見て高額すぎないこと。
 - 団体の活動への参加窓口を一般市民に広げていること。団体内だけの活動のみでなく、地域全体への普及啓発活動があること。
 - 組織の構成メンバーが10人以上で、主として（6割以上）芦屋市民であること。また、芦屋市域を活動の拠点にしていること。



【申請に必要な書類】*生涯学習課で配布。市ホームページからダウンロードもできます。芦屋市社会教育関係団体登録申請書(様式第1号) 事業報告書・事業計画書(様式第2号) 収支決算書・収支予算書(様式第3号) 会員名簿(様式第4号) 会則(団体で使用のもの) 芦屋市ホームページ団体掲載用原稿

【受け付け期間・場所】 ■申請期間 12月10日～27日(平日・執務時間内) ■受け付け 生涯学習課(市役所北館4階)

美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

《小出楯重没後80年／美術博物館開館20年》

小出楯重を歩く -1920年代 大阪・神戸・芦屋- 12月18日▶2月20日

■時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) ■会場 第1展示室 ■内容 「裸婦の楯重」と称された小出の大坂・神戸・芦屋での足跡を、コレクションを中心とした作品・資料約100点を展示

のる・とる・あそぶ -芦屋の鉄道・JR線の巻- 12月18日▶2月20日

■時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) ■会場 第2展示室 ■内容 JR神戸線のあゆみを、古文書や写真資料を展示

昭和の面影5 -暮らしと道具・古今雑- 12月18日▶2月20日

■時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) ■会場 歴史資料展示室 ■内容 昭和のころ日常に使っていた生活道具を展示

【みんなで歌いましょう】

■日時 12月17日(金)午後1時30分～3時 ■会場 講義室 ■指導 加藤純子(歌)・沖倫子(ピアノ)・LOVE ASHIYA ■参加費 500円(観覧料含む)*歌集『愛唱名歌』野ばら社)のないかたは歌集代1,000円別

《12月の休館日／6日・13日・20日・27日・年末年始(12月28日～1月4日)》

■観覧料…一般300(240)円、大高生200(160)円、中学生以下無料 *《》内は20人以上の団体料金

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☎38-3244/✉ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp

【通常展示】 谷崎潤一郎・人と作品

■期間 12月3日～平成23年3月27日・午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) ■内容 谷崎潤一郎の生涯とその作品。(特別展示)棟方志功「歌々板画欄(うたうたはんがさく)」全12点を一挙公開 ■入館料 300円

【文学館講座】 赤筆診療たん「こぼのよもやばなし」講座

■日時 12月8日(水)午後2時～4時 ■会場 講義室 ■内容 『読売ライフ』の人気コラム「赤筆診療たん」の筆者・篠原嘉彦当館事務局長が語る、間違いやすい慣用語句・表現・同音漢字の使い分けなどのことばにまつわるいろんな話 ■定員 16人 ■受講料 2,500円(コーヒー代含む) ■申し込み 上記へ

【特別講座】 思いきり愉(たの)しむ「谷崎潤一郎」

■日時 12月18日(土)午後2時～3時30分 ■会場 講義室 ■内容 井上勝博当館学芸員による、肩の凝らない「文豪サーチ」 ■定員 先着20人 要予約 ■受講料 1,000円(コーヒー代含む) ■申し込み 上記へ

《12月の休館日／1日・2日・6日・13日・20日・27日・年末年始(12月28日～1月4日)》



①後円部発掘の様子

市内の東部、西宮市との市境には翠ヶ丘丘陵と呼ばれる広くて長い台地が広がっています。この台地上には、古墳時代前期や中期の築造である阿保親王塚古墳や金津山古墳など大形古墳の緑樹におおわれた墳丘が現存しています。また、かつては、駒塚古墳や四ツ塚と呼ばれる横穴式石室墳、塚や古墳の伝承をもつ鞍塚やうの塚、元塚や大敷小敷塚といった小さな円丘も点在していました。しかし、これらの多くは近代以降の開発により、次々に姿を消していきました。



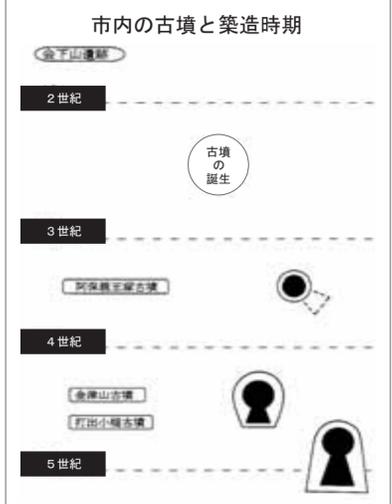
両ほほにネコのヒゲのような入れ墨がある人物埴輪



②埴輪と葺石の出土状態



③築造時期を示す円筒埴輪(5世紀末ごろ)



出土した埴輪や須恵器から、金津山古墳、次いで打出小槌古墳が築造されたものと考えられます。打出の地には、五世紀後半から未だに、帆立貝形古墳、前方後円墳と続く有力首長の墓が築かれたことが明らかになっています。この時期、後の五王の時代には、阪神地域において、大形の古墳を築きつづけていた。これらの古墳の被葬者の勢力圏は、旧美原郡を超えてかなり広大であったことがうかがえます。

芦屋の土地だけでなく、もっと広い地域を治めた被葬者

係するなど、北部九州の遠い場所にまで活発な活動を示しました。打出小槌古墳には、そのことを示す九州系の埴輪や装飾古墳の顔料が用いられています。また、また、埴輪が出るころがあり、金津山古墳や打出小槌古墳に近い時期に造られた古墳があるようです。若宮町などに、打出小槌古墳や金津山古墳と関連のある、未知の古墳群が埋没していることも分かっています。芦屋の有力古墳は、やがて行政組織の確立する古代社会と深く関係し、私たちの祖先の長い歩みの連続性とそのリーダーたちの活躍や、築造にかかわった民に光を照らす、文化財保護の大切さを教えています。

住宅地の土中に眠る大豪族の墓を掘る

埋葬者が分かりつつある打出小槌古墳

宅地化した町並みの下からは、古墳の痕跡が突如現れ、私たちに驚かせることがあります。その好例の1つが、今夏に行った打出小槌古墳です。今回は、この発掘調査の概要について紹介します。この打出小槌古墳は、出土品やその大きさから阪神間を代表するものであることが判明し、さらにその巨大な勢力を誇る豪族の存在を新たに考える必要も出てきました。8面に関連記事掲載

問い合わせ 生涯学習課文化財担当 ☎38-2115

この古墳は、金津山古墳の西方百メートルほどにあるマシオン建設予定地で、昭和六十一年(一九八六)二月に、最初に見つかったもので、埴輪が出土したのを契機とします。周辺では、昭和初期に国道2号の工事に伴って、打出天神社の北西側で埴輪の出土が記録されていますが、た位置はかなり離れた場所です。また、この古墳が埋没していることが想定されたため、急ぎよ発掘調査を行いました。

発掘調査の結果、幅五・六メートル、深さ〇・八メートルほどで、直線的に伸びる濠が、長さ二十三メートルにわたって姿を現しました。濠には、崩れ落ちた多くの葺石とともに、人物埴輪、赤・白・緑など彩色豊かな顔料を塗った家形などの形象埴輪が大量に出土し、町名にちなんで「打出小槌古墳」と名付けられました。入れ墨を施した大変珍しい人物埴輪も出土し、県下初の実証的な発見となりました。

この古墳の形や大きさについては、今もいろいろの説が出されています。発見当初は、直線的な濠の形から、方墳ないし前方後円墳の前方部の可能性が考えられていました。平成元年には、濠の南東端が確認され、濠が北西方向に曲がること、濠の長さが四メートルを超えることが明らかになり、造り出しを基点にすると、一辺二十六メートルの墳

発見から二十四年後の夏：後円部がその姿をついに現した

この古墳は、金津山古墳の西方百メートルほどにあるマシオン建設予定地で、昭和六十一年(一九八六)二月に、最初に見つかったもので、埴輪が出土したのを契機とします。周辺では、昭和初期に国道2号の工事に伴って、打出天神社の北西側で埴輪の出土が記録されていますが、た位置はかなり離れた場所です。また、この古墳が埋没していることが想定されたため、急ぎよ発掘調査を行いました。

後円部の濠と葺石と埴輪

その後、国道2号沿いでの発掘調査は、これまでの調査結果を念頭に、おいて進めましたが、埴輪片の出土は少なく、濠の痕跡はありませんでした。この古墳の位置が、国道よりずっと南になることがわかりました。平成二十年の二月に行われた発掘調査では、調査面積が限られていたものの、残りのよい埴輪片がいくつも見つかり、濠の一部ではないかと見られる土層も確認でき、古墳本体に近いことが推測されました。そして、本年八月、その想定していた地点を対象とした発掘調査を行いました。発掘を進めると、調査地の東寄り、弧を描く幅八メートルの濠が、長さ十五メートル程見つかり、後円部周濠のその姿がようやく現れたのです。すべり落ちた葺石や埴輪がたくさん見られましたが、前方部とは違って、埴輪の裾を明らかにする基底石・葺石の最下段に並べられたやや大振り(石)は残っていませんでした。

濠の最上部や墳丘の裾は明確ではないものの、総長七十五メートル前後の大きさで分りました。典型的な前方後円墳と想われ、周濠は常時水を貯えたと考えられます。空壕のようでした。また、濠内に墳丘から埴輪や葺石が次々に転落した時期は、一緒に出土した須恵器から、およそ奈良から平安時代ごろと思われる。中世には、濠の大部分が埋まってしまい、その後、濠跡に流路が通っていたことも観察できました。



④後円部形態の判明した打出小槌古墳

12月 CATV 広報番組ガイド

芦屋市広報番組 あしや トライ あんぐる

放送時間 (15分)	内容
オープニング	松ノ内公園より
トピックス	第3回あしや市民フェスタ
特集	松永貴志トリオ in Luna
	みんな笑顔で集える場
	芦屋市保健福祉センター
お知らせ	「芦屋の四季・70選」好評発売中
	年末特別火災警戒
	オープンガーデン2011 参加者募集
エンディング	写真で振り返る「芦屋市制の70年」

※DVD VTR 貸出可

■アナログ放送は9chで、地上デジタル放送は11chでご覧ください。
 ■番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 ■CATV全般に関する問い合わせ ケーブルネット神戸芦屋(J:COM)カスタマーズセンター ☎0120-13-8160

平成23年 芦屋市成人式

■日時 平成23年1月10日(月)祝 午後1時開会 午後0時30分開場

■会場 ルナ・ホール

■対象 平成2年4月2日～3年4月1日生まれの新成人

*11月1日現在、本市の住民基本台帳および外国人登録簿に記載・登録されているかたに案内状をお送りします。
 *案内状がなくてもご入場いただけます。

問い合わせ スポーツ・青少年課 ☎22-0358

《人権週間記念事業》ヒューマンライツシアター「約束の旅路」

■日時 12月4日(土) 午前10時30分～ 午後2時～

■会場 上宮川文化センター3階・ホール

■定員 各先着150人

家族を失い、母と2人、歩いてス・ダンの難民キャンプにたどりついた9歳のエチオピア人少年。母は少年に、1人イスラエルへ脱出し、生き延びるようにと命じる。母と別れ、故郷から遠く離れ、真実の名前を隠して生きる新しい地。そこで少年は愛情ゆたかな養父母に出会うが、別れた母とアフリカの大地への思いは抑えがたく、肌の色や宗教による壁やユダヤ人だと偽りつづけることに激しく葛藤する。やがて彼は成長し恋も知るが、故郷アフリカの窮状を知り、医師を志してパリへと向かう…。 <2005年・フランス映画・149分>

問い合わせ 上宮川文化センター ☎22-9229

假屋崎 省吾 フラワーデモンストレーション&トークショー

“美をつぎ出す手を持つ人”と評される假屋崎省吾が繰り広げる、繊細かつ大胆・華麗なる美の世界を、あなたも体感してみませんか?

■日時 平成23年1月30日(日) 午後2時30分開演(2時間場)

■会場 ルナ・ホール

■入場料 前売3,000円(当日3,500円)<全席指定>

■チケット販売所 市民センター事務所・グリル 業平・市役所売店・ローソンチケット(Lコード55608)

問い合わせ 市民センター ☎31-4995